



地域の人たちと花を植える子どもたち

花いっぱいの花壇に笑顔
益城中央小で学校環境ボランティア活動

子どもたちの情操面を豊かなものにし、地域の人たちとコミュニケーションを図ろうと、益城中央小学校で6月7日、学校環境ボランティア活動の花植え作業が行われました。

1、2年生約150人を対象とした花植え作業は木山・福田校区の民生委員、木山老人会が全面協力。植えられた花は町老人クラブ連合会の梅田隆義会長

自らが、種から育てた苗約480株を同校に提供したものです。

子どもたちは花壇の前に一列に並び、目の前の土に花の苗を丁寧に植え付けました。

作業を終えると、校舎南側に位置する花壇が見違えるほど花いっぱいになりました。泥だらけになった手とは対照的に、子どもたちの顔にも満面の笑みが咲いていました。

収穫作業は「宝探し」

津森小学校農園でジャガイモの収穫

津森小学校の学校農園「伍三郎農園」(上陳)で5月20日、同校児童と町立第3保育所の4、5歳児の合わせて約110人の子どもたちがジャガイモの収穫作業を行いました。

2月に植えた種イモを同校PTAなどが管理し、約10畝の畑一面にたくさんのジャガイモが育ちました。

「こっちにたくさんあるよ」、「大きいのがあった」と笑顔の子どもたち。まるで宝探しをしているかのようにジャガイモ掘りを楽しみました。

収穫した600kgのジャガイモは地域の人へ配布したり、販売されます。その収益金は東日本大震災の被災地復興の寄付に充てる予定です。



実ったジャガイモを収穫する子どもたち



一戦一戦が真剣勝負の試合風景

激戦を制した福田体協

益城町ナイター女子ソフトボール大会

町民グラウンドで5月31日と6月2日の2日間、第27回益城町ナイター女子ソフトボール大会が行われました。

大会には、町内体育協会の4チームと一般参加の「ブリバリーズ」の計5チームが参加。真剣勝負の試合では、随所に見られた好プレーが観客を沸かし、夜の町民グラウンドを熱気で包みました。

2日目の決勝戦では1日目の予選を1位で通過した福田体協と、2位通過の津森体協が対戦しました。結果は6対4。打って打たれての激戦を制したのは福田体協。3位には飯野体協が入りました。